

平成 4 年 4 月

## 会 員 各 位 殿

(社) 日本OR学会中国・四国支部

支部長 尾 崎 俊 治

### 平成 3 年度中国・四国支部事業報告、収支決算並びに 平成 4 年度事業計画、収支予算送付の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当支部につきましては、日ごろ格別のご支援ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、去る 3 月 24 日「平成 4 年度定期総会」を開催し、標記につき審議承認されましたので、ここに同書類を同封にてお届けいたします。

つきましては、なにとぞご高覧のうえ、今後一層のご協力、ご支援の程お願い申し上げます。

敬 具

# (社) 日本OR学会中国・四国支部 平成4年度支部総会次第

1. 開 会 の 辞
2. 支 部 長 挨 拶
3. 平成3年度事業報告
4. 平成3年度決算報告
5. 監 査 報 告
6. 平成4年度支部役員の選出
7. 平成4年度事業計画
8. 平成4年度予算計画
9. 支部規約の変更
10. 新 支 部 長 挨 拶
11. そ の 他
12. 閉 会 の 辞

# (社) 日本OR学会中国・四国支部 平成3年度事業報告

## 1. 総 会 1 回

日 時：平成3年3月6日（水） 14：00～15：00

場 所：中国電力㈱

議 題：平成2年度事業・決算報告

平成3年度支部役員選出

平成3年度事業・予算計画

その他

## 2. 役 員 会 1 回

日 時：平成3年3月6日（水）

場 所：中国電力㈱

議 題：平成3年度支部総会の件

## 3. 幹 事 会 3 回

1 回 日時：平成3年3月6日（水）

場所：広島東急イン

2 回 日時：平成3年11月28日（木）

場所：広島ガーデンパレス

3 回 日時：平成4年2月26日（水）

場所：中国電力㈱

## 4. 講 演 会 6 回（定例講演会1回）

1 回 日時：平成3年3月6日（水） 15：30～16：30

会場：中国電力㈱

演題：日本の土木建築における曲線の数理について

講師：柳井浩氏（慶応義塾大学）

参加者：24名

- 2回 日時：平成3年7月25日（木） 14：00～17：00  
会場：中国電力㈱  
演題：集団による意思決定の支援  
講師：山田善靖氏（東京理科大学）  
（共催 日本経営工学会中国四国支部）  
参加者：29名
- 3回 日時：平成3年9月14日（土） 15：00～16：30  
会場：広島県情報プラザ  
演題：魅力商品とその売れ行き  
[ユーザー・ニーズに対する企画・設計・製造・販売の一貫性]  
講師：秋庭雅夫氏（東京理科大学）  
（共催 日本経営工学会中国四国支部、広島管理技術研修会）  
参加者：41名
- 4回 日時：平成3年9月20日（金） 15：00～17：00  
会場：マツダ㈱  
演題：シナリオ法によるポートフォリオ分析  
講師：澤木勝茂氏（南山大学）  
参加者：10名
- 5回 日時：平成3年11月15日（金） 15：00～16：30  
会場：中国電力㈱  
演題：人工現実の仮想空間での意思決定システムとその応用  
講師：野村淳二氏（松下電工㈱）  
（定例講演会）  
参加者：10名
- 6回 日時：平成3年12月25日（水） 13：00～17：00  
会場：広島市工業技術センター  
演題：新理論「経営トータルシミュレーションからみた生産の  
成功・失敗のキーポイントについて」  
講師：矢矧晴一郎氏（矢矧コンサルタント㈱）  
参加者：46名

## 5. 研究発表会 1回

日時：平成3年7月5日（金）14：00～17：00

会場：中国電力㈱

演題1：新製品開発におけるPDPCの運用事例

—舗装用ゴムブロックの開発—

講師：藤本知士氏（西川ゴム工業㈱）

演題2：DSSの事例

—プラス0.5次産業を目指す養豚経営—

講師：内海良夫（㈱YS企画）

参加者：19名

## 6. ORサロン 1回

日時：平成4年2月19日（水）15：00～17：00

会場：中国電力㈱

演題1：料金業務日程表作成

—電力事務部門へのエキスパートシステムの適用—

講師：梶川祐朗氏（中国情報システムサービス㈱）

演題2：AHPシート開発をめぐる2、3の話題

—矢矧式枝分かれ戦略図、マクロ使用上の工夫など—

講師：権藤元、桐本康寿氏（近畿大学）

参加者：20名

（共催：DSSジェネレータ研究部会）

## 7. シンポジウム 2回

1回 日時：平成4年1月16日（木）13：00～16：35

会場：広島大学工学部

演題：OR vs. 投資理論

講師：別紙1参照

参加者：27名

2回 日時：平成4年1月28日（火）12：00～15：00

会場：岡山県赤磐郡赤坂町中央公民館

演題：別紙2参照

講師：別紙2参照

（共催：関西支部応用確率論研究会）

参加者：32名

## 8. 研究部会

- (1) 投資理輪のOR研究部会 (別紙3参照)  
研究会 4回
- (2) ファジィとOR研究部会 (別紙4参照)  
研究会 4回
- (3) 地域経営研究部会 (別紙5参照)  
研究会 1回

## 9. OR企業サロン(本部主催)への協力

日時：平成3年10月4日(金) 13:30~16:30

会場：広島県情報プラザ

テーマ：(1) コミュニケーションとOR

(2) 経営雑感—企業の活性化について

スピーカー：(1) 支部長 近畿大学教授 権藤 元

ゲストスピーカー：(2) JR西日本・アサヒビール会長 村井 勉

参加者：86名

## 10. ORセミナーの開催

日時：平成3年10月1日(火)~10月4日(金)

会場：広島県情報プラザ

プログラム：別紙6参照

なお、準備のため次の通り有志幹事会を開催した。

- 1回 日時：平成3年3月29日(金)  
会場：中電技術コンサルタント(株)
- 2回 日時：平成3年4月19日  
会場：中国電力(株)
- 3回 日時：平成3年5月31日(金)  
会場：川崎製鉄(株)水島製鉄所

# (社) 日本OR学会中国・四国支部 平成元年度支部会計決算報告書

## 1. 貸借対照表

平成4年2月29日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金 預 金(1)	0 195,077	前 期 繰 越 金	193,585
		当 期 運 営 残 高	1,492
合 計	195,077	合 計	195,077

(1) 広島銀行 広支店

## 2. 収支決算書

自 平成3年3月1日  
至 平成4年2月29日

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本 部 交 付 金	414,400	438,400	
預 金 利 息	1,000	4,513	
そ の 他	0	0	
①合 計	415,400	442,913	
(支出の部)			
会 議 費	20,000	29,800	
講 演 会 費	80,000	75,000	
研 究 発 表 会 費	10,000	5,000	
O R サ ロ ン 費	40,000	8,000	
シ ン ポ ジ ウ ム 費	150,000	107,000	
研 究 部 会 費	150,000	78,150	
通 信 費	80,000	85,625	
印 刷 費	30,000	30,000	
交 通 費	25,000	15,500	
事 務 費	20,000	7,346	
予 備 費	3,985	0	
②合 計	608,985	441,421	
③ 当 期 運 営 残 高		1,492	① - ②
④ 前 期 繰 越 金		193,585	
⑤ 次 期 繰 越 金		195,077	③ + ④

# (社) 日本OR学会中国・四国支部

## 平成4年度支部役員

(50音順)

支部長	尾崎俊治	(広島大学)	(新)
副支部長	田中博	(中国電力)	(再)
(4名)	成久洋之	(岡山理科大学)	(新)
	長谷川忠彦	(マツダ)	(新)
	広瀬圭介	(川崎製鉄)	(再)
支部評議員	石井博昭	(岡山大学)	(再)
(12名)	石田徳孝	(松山大学)	(留)
	小川洋三	(川崎製鉄)	(留)
	河合一	(鳥取大学)	(留)
	久保田洋志	(広島工業大学)	(再)
	桑原兵二郎	(近畿大学)	(新)
	坂和正敏	(広島大学)	(再)
	佐藤洋一	(四国電力)	(再)
	住山哲夫	(中国情報システムサービス)	(再)
	平木秀作	(広島大学)	(再)
	向井勉	(中電技術コンサルタント)	(新)
	藤永靖彦	(宇部短期大学)	(再)
支部監事	玉廣靖司	(中国電力)	(留)
(2名)	和田弘	(アイティエス)	(留)
支部幹事	井野口稔	(中国電力)	(留)
(15名)	海生直人	(広島修道大学)	(留)
	門田博隆	(四国電力)	(留)
	金子雅彦	(川崎製鉄)	(再)
	亀山嘉正	(岡山大学)	(新)
	佐藤泰司	(山口大学)	(留)
	椿康和	(広島大学)	(再)
	土肥正	(広島大学)	(新)
	中村仁士	(中電技術コンサルタント)	(新)
	榎本隆之	(マツダ)	(留)
	松富達夫	(近畿大学)	(再)
	松廣斎	(広島工業大学)	(再)
	村上義博	(広島大学)	(新)
	山田茂	(広島大学)	(再)
	渡辺展男	(広島県立大学)	(留)

(留)留任 (再)再任 (新)新任

なお、支部顧問として青木兼一(広島県立大学)、権藤元(近畿大学)両氏が委嘱された。

# (社) 日本OR学会中国・四国支部 平成4年度事業計画

- |     |                  |     |
|-----|------------------|-----|
| 1.  | 総 会              | 1 回 |
| 2.  | 役 員 会            | 若干回 |
| 3.  | 幹 事 会            | 若干回 |
| 4.  | 講 演 会            | 4 回 |
| 5.  | 研 究 発 表 会        | 若干回 |
| 6.  | O R サ ロ ン        | 若干回 |
| 7.  | シ ン ポ ジ ウ ム      | 2 回 |
| 8.  | 研 究 部 会          | 若干回 |
| 9.  | ORセミナーの開催（実行委員会） |     |
| 10. | OR企業サロンへの協力      |     |
| 11. | 支部25周年記念行事       |     |
| 12. | 会 員 増 強 活 動      |     |
| 13. | そ の 他            |     |

参考資料

個人会員数推移状況

年 度	76	79	82	85	88	89	90	91
会員数	100	126	127	134	129	150	154	153

賛助会員数 9社

(社) 日本OR学会中国・四国支部  
平成4年度支部収支予算

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	195,077	会 議 費	30,000
本部交付金	438,400	講 演 会 費	80,000
預 金 利 息	2,000	研究発表会費	10,000
		ORサロン費	40,000
		シンポジウム費	150,000
		研究部会費	100,000
		通 信 費	90,000
		印 刷 費	30,000
		交 通 費	20,000
		事 務 費	70,000
		予 備 費	15,477
合 計	635,477	合 計	635,477

## 支部規約の変更

### 1. 事務局変更にもなう第2条の変更

第2条 本支部は、事務所を広島県東広島市鏡山1丁目4-1広島大学工学部計数管理工学教室内におく。

### 2. 支部顧問を設ける

次の第10条を新設し、以下条文を繰り下げる。

第10条 本支部に支部顧問をおくことができる。

本支部の活動に特に貢献があった者を支部顧問として役員会が推薦し、これに基づいて支部長が委嘱する。支部顧問は支部の重要事項について支部長の諮問に応じて意見を述べ、随時会議に出席することができる。

### 3. 付則の追加

次の付則を追加し、あわせて、付則には条番号をつけないこととする。

本支部規約は、平成4年3月1日一部改正した。

(別紙1)

# 日本OR学会中国・四国支部シンポジウム — OR vs. 投資理論 —

プログラム

時 間	テ ー マ	講 師
13:00~13:05	支部長挨拶	近畿大学 権藤 元
13:05~13:50	Asymptotic Portfolio Management with Transaction Costs	University of Illinois at Chicago Stanley Pliska
13:50~14:35	A Comparative Statistics of Risk in Opimal Portfolios with Several Investment Opportunities	筑波大学 木島 正明 京都大学 大西 匡光
14:35~15:05	Portfolio Optimization with Path- Dependent Utilities	広島大学 土肥 正
15:15~15:45	On Portfolio Insurance Based upon Stock Options	広島大学 藤原 浩晃
15:45~16:30	共通費配賦における協力ゲームの検討	広島修道大学 青木 雅明
16:30~16:35	投資理論のOR研究部会主査まとめ	広島大学 尾崎 俊治

(別紙2)

日本OR学会中国・四国支部シンポジウム  
ファジイとOR研究部会シンポジウム  
プログラム

時 間	テ ー マ	講 師
13:00~13:05	支部長挨拶	近畿大学 権藤 元
13:05~14:00	C言語とOR	岡山理科大学 仲川 勇二
14:00~14:30	経営情報学とは	大阪国際大学 西田 俊夫
14:30~15:00	ファジイ及び確率的組合せ最適化 について	岡山大学 石井 博昭
15:30~17:30	酒蔵見学	利守酒造

(別紙3)

### 平成3年度 投資理論とOR研究部会報告

回数	開催月日	参加人数	内容
1	7/11	18名	1. Optimal Trading of Stock Options under Prespecified Strategies 2. Construction of a Decision-Support System for a Combination of Options
2	9/20	10名	シナリオ法によるポートフォリオ分析
3	12/6	19名	成長と安全の基準を用いた最適ポートフォリオ選択問題に関する考察
4	1/16	27名	OR vs. 投資理論

(別紙4)

### 平成3年度 ファジイとOR研究部会報告

回数	開催月日	参加人数	内容
1	5/31	10名	1. ORの問題へファジイ理論の導入について 2. 教師の評価能力向上の為の一考察 書写の評価にファジイ理論を適用して
2	7/30	20名	1. ファジイ理論の情報検索への応用 2. あいまい制約を考慮した操業スケジューリング
3	9/27	8名	1. 在庫問題に対するFuzzy理論の適用 2. 人員配置問題に対するFuzzy理論の適用
4	1/28	32名	1. 経営情報学とは 2. C言語とOR 3. ファジイ及び確率的組合せ最適化について

(別紙5)

### 平成3年度 地域経営研究部会報告

回数	開催月日	参加人数	内容
1	7/23	12名	庄原地域商業活性化事業の推進 —カードシステム開発上の問題点—

(別紙6)

# ORセミナー

プログラム

10月1日(火)

挨拶	基調講演	講義 1	講義 2
支部長 権藤 元氏 (近畿大学)	“ORとは” 尾崎 俊治氏 (広島大学)	線形計画法 平木 秀作氏 (広島大学)	シミュレーション 金子 雅彦氏 (川崎製鉄㈱)

10月2日(水)

講義 3	講義 4	講義 5
設備投資計画法 海生直人氏(修道大学)	ネットワーク理論 石井博昭氏(岡山大学)	ソフトウェアの信頼性理論 山田 茂氏(広島大学)

10月3日(木)

演習

午 前	午 後	担 当
A 線形計画法 B シミュレーション C PERT D 多変量解析法 E 信頼性理論	A 線形計画法 B シミュレーション C PERT D 多変量解析法 E 信頼性理論	松富 達夫氏(近畿大学) 金子 雅彦氏(川崎製鉄) 住山 哲夫氏(CIS) 宇佐川雄士氏(中国電力) 海生 直人氏(修道大学)
F マネージメントゲーム		羽藤 憲一氏(近畿大学)

10月4日(金)

演習	事例研究	OR企業サロン		
発表会	“LPとエキスパートシステムの融合事例” 久保田忠義氏 出光石油化学㈱	“コミュニケーションとOR” 権藤 元氏 近畿大学	“経営雑感” —企業の活性化について— 村井 勉氏 西日本旅客鉄道㈱	懇親会

平成4年度支部役員変更のお知らせ

日本OR学会中国・四国支部  
支部長 尾崎 俊治

本年度支部役員について、次の通り一部変更がありましたのでお知らせ  
します。

変更前

変更後

副支部長	広瀬 圭介 (川崎製鉄)	数土 文夫 (川崎製鉄)
支部評議員	小川 洋三 (川崎製鉄)	井塚 滋夫 (川崎製鉄)

以上 よろしくお願いいたします。

# 中国・四国支部規約

## (名称)

第 1 条 本支部は、日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部と称する。

第 2 条 本支部は、事務所を広島県東広島市鏡山一丁目 4-1 広島大学工学部計数管理工学教室  
内におく。

## (目的)

第 3 条 本支部は、日本オペレーションズ・リサーチ学会（以下本部と称する）の目的達成のため  
に必要な地域活動の推進をはかる。

## (事業)

第 4 条 本支部は、前条の目的を達成するためにオペレーションズ・リサーチに関する次の事業  
を行なう。

- (1) 研究会、講演会の開催
- (2) 図書、文献の収集、保存
- (3) 印刷物の作成、配布
- (4) その他必要と認められる事業

## (会則)

第 5 条 本支部は、原則として次の地域に在住または勤務する会員（正会員、学生会員、賛助会  
員の代表者または代理者、名誉会員）をもって構成する。

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県（役員）

第 6 条 本支部は、次の役員をおく。

- (1) 支 部 長           1 名
- (2) 副 支 部 長       若 干 名
- (3) 支 部 評 議 員   若 干 名
- (4) 支 部 監 事       2 名
- (5) 支 部 幹 事       若 干 名

第 7 条 役員を選出は、支部総会において会員の互選による。

第 8 条 役員任期は、2年とする。ただし再任はさまたげない。

第 9 条 役員欠員を生じた場合は、役員会の推薦により、補充することができる。ただし後任  
者の任期は、前任者の残任期間とする。

第 10 条 本支部に支部顧問をおくことができる。

本支部の活動に特に貢献があった者を支部顧問として役員会が推薦し、これに基づいて  
支部長が委嘱する。支部顧問は、支部の重要事項について支部長の諮問に応じて意見を  
述べ、随時会議に出席することができる。

## (運営)

第 11 条 支部長は、支部を代表するとともに、支部業務を総括し、支部会議を招集してその議長  
の任にあたる。

第 12 条 副支部長は、支部長を補佐し、支部長事故あるときは、支部長の業務を代行する。

第 13 条 支部評議員は、支部長の諮問に応じる。

第 14 条 支部監事は、支部の業務および会計を監査する。

第 15 条 支部幹事は、支部業務の円滑な運営にあたる。

第 16 条 支部は、本部の庶務、刊行物および会計に関する内規の適用を受ける。

(会 議)

第 17 条 支部会議は、支部総会および支部役員会とする。

第 18 条 通常支部総会は、年一回、会計年度終了後 2 ヶ月以内に、支部長が招集する。

また、役員会が必要と認めるとき、および支部会員の $\frac{1}{5}$ 以上が要請するときは、臨時支部総会を開催する。

支部総会は、会員現在数の $\frac{1}{3}$ 以上の出席をもって成立する。ただし、委任状による出席を認める。

第 19 条 支部総会は、次の事項を審議・決議し、決議事項はすべて本部に報告し、承認を受ける。

(1) 役員を選出

(2) 運営方針、事業計画および予算、事業報告および決算

(3) 支部規約の変更

(4) そ の 他

第 20 条 支部役員会は、支部長、副支部長、支部評議員、支部監事、支部幹事をもって構成し、必要の都度開催する。

支部役員会は、構成員の $\frac{2}{3}$ 以上の出席をもって成立する。ただし、委任状による出席を認める。

第 21 条 支部会議の議決は、とくに定める場合を除き、出席者の過半数で決する。

なお、委任状による議決への参加を認める。

(会 計)

第 22 条 支部は、本部からの交付金をもってその経費にあてる。

第 23 条 支部の会計年度は、毎年 3 月 1 日から、翌年 2 月末日までとする。

第 24 条 支部は、毎年度末に事業ならびに収支報告書を作成し、本部に提出する。

(支部規約の変更)

第 25 条 この支部規約は、支部総会で出席者の $\frac{2}{3}$ 以上の賛成を得、かつ本部理事会の承認を得て変更することができる。

(附 則)

本支部規約は、昭和48年 3 月 1 日より施行する。

本支部規約は、昭和49年 3 月 1 日一部改正した。

本支部規約は、昭和51年 3 月 1 日一部改正した。

本支部規約は、昭和57年 3 月 1 日一部改正した。

本支部規約は、昭和63年 3 月 1 日一部改正した。

本支部規約は、平成 4 年 3 月 1 日一部改正した。